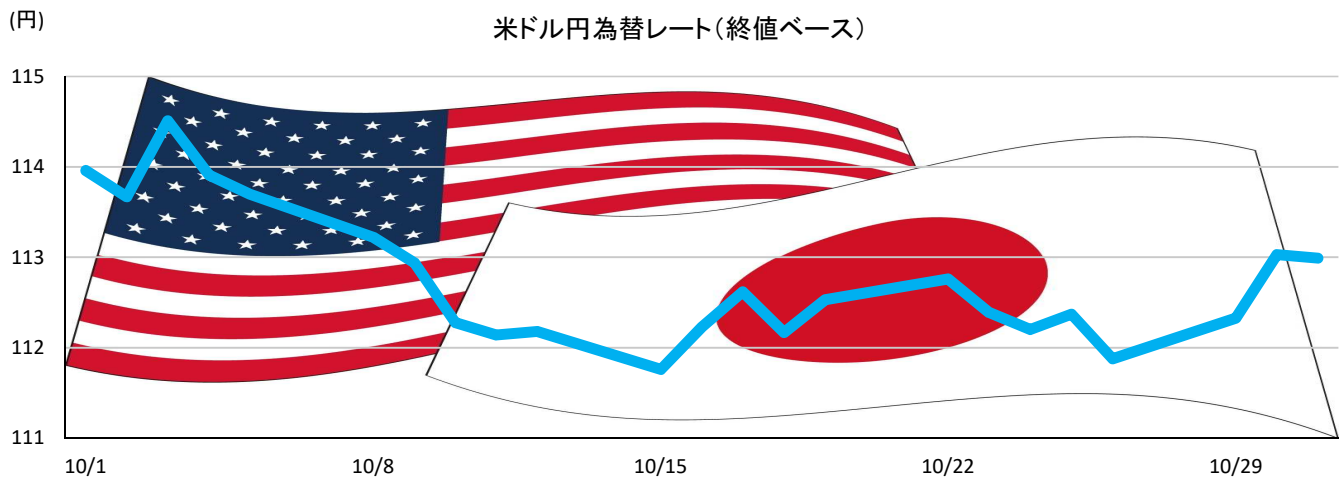


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 10月のドル円相場は114円半ば～111円半ばで推移。ドル高基調は続いていたものの、史上最高値を更新したNYダウの急落をきっかけに世界同時株安となったことで、一転ドル売りが進んだ。さらに米中貿易問題や日米貿易問題も絡んでリスク回避の動きから、月中には111円台半ばまで円高ドル安が進行したが、株安も一服したことで112円台を回復。その後、一進一退の動きの中、サウジ人記者死亡事件をきっかけに中東リスクが懸念されたものの、株高の動きに引っ張られる形でリスク選好姿勢からドル買いの流れに。月末には113円台を回復するなど、久々に動きが見られた月となった。



EXTRA VISION

今後の展開: 米国中間選挙は、ある程度予想された、上院が共和党、下院が民主党の勝利という結果だった。色々コメントされているが、米国では上院下院でねじれていることが特に珍しいことではなく、大幅に下院の議席を減らさなかったことを考えると、想定内の結果といえる。このことからトランプ大統領は保護主義政策を続けていくと思われるが、今までのように強気一辺倒で政策を推し進めていくかどうかは不透明なところもある。現在の好調な米国経済が陰りを見せ始めたときに、どのように乗り越えていくかがポイントとなってくるだろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
11 / 28 (水)	22 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
11 / 30 (金)	19 : 00	EU	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
12 / 7 (金)	19 : 00	EU	欧州GDP確定値	☆☆☆☆
12 / 7 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
12 / 13 (木)	21 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
12 / 20 (木)	4 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
12 / 20 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。